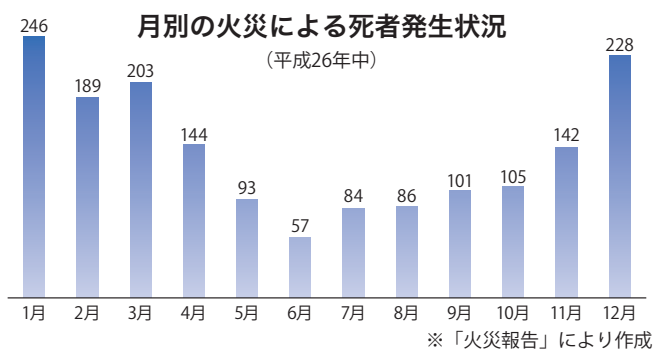


## 平成27年秋季全国火災予防運動

### 予防課

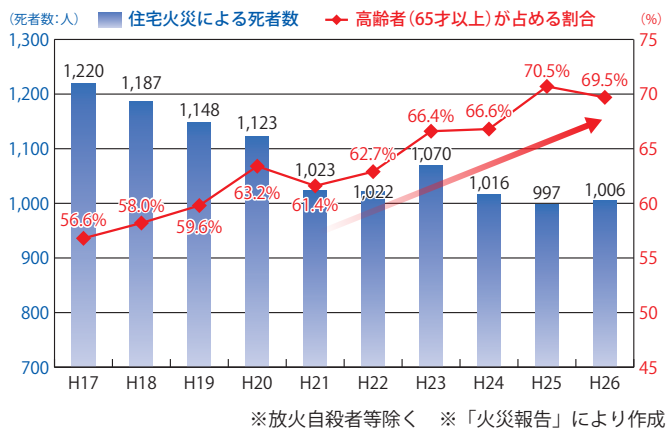
消防庁では、空気の乾燥や、暖房器具の使用など、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぐことを目的として、「119番の日」である11月9日から15日まで（一部地域を除く。）の7日間にわたり、秋季全国火災予防運動を実施します。



この運動は毎年2回実施しており、今年度は「無防備な心に火災がかくれんぼ」を全国統一防火標語とし、防火防災に関する展示、体験型イベントなどのほか、学校、事業所等と消防本部・消防署が協同した防火講習会や消防訓練等が行われます。防火に対する正しい知識や技能の修得のため、積極的に参加しましょう。

また、最近の住宅火災による死者数は1,000人前後の高い水準で推移しています。そのうち、65歳以上の高齢者が約7割を占めており、高齢化の進展に伴い、その割合は年々増加傾向にあります。

### 住宅火災の死者数の推移



これは、年をとると目や耳が不自由になり、火災に気づくのが遅れたり、あるいは火災に気づいても若い人のように迅速に動けず逃げ遅れてしまうといったことが原因のひとつとして考えられます。こういった高齢者を始めとする、火災発生時の要配慮者を地域ぐるみでサポートすることが重要です。

この秋季全国火災予防運動に合わせて、「寝たばこ」による火災防止を呼びかける「たばこ火災防止キャンペーン」（一般社団法人日本たばこ協会主催）も実施されます。

住宅火災のうち最も多くの死者を出しているのは、「たばこ」を原因とした火災です。喫煙者の方は絶対に寝たばこはせず、ご家族に喫煙者がいる方は、寝たばこをしないよう声かけをしましょう。



**寝たばこ火災を防ぐ 三か条**

- 一ふとんで吸わない
- 二灰皿には水を入れて絶対確認!
- 三消えたかどうかわからないときは水をかける

**住宅火災における火元出火原因別死者数**

原因	死者数	割合
たばこ	181人	14.3%
ストーブ	120人	9.7%
平成26年中住宅火災による死者	1122人	
この中	172人	15.3%
誤火の多い	49人	4.3%
暖房	111人	9.8%
その他	31人	4.5%

住宅火災のうちもっとも多くの死者を出しているのが「たばこ」が原因の火災です。

「たばこ火災防止キャンペーン」ポケットティッシュの折込



**無防備な心に火災がかくれんぼ**

平成27年秋季 全国火災予防運動 11月9日-11月15日

平成27年秋季 全国火災予防運動広報ポスター 葵わかなさん

### 問い合わせ先

消防庁予防課予防係 齋藤、森野  
TEL: 03-5253-7523